

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ロザリオ発達支援センター ふたば保育園		公表日 2026年 3月 5日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・室内を目的ごとに4つに仕切りを設置。 (自立課題室、朝の会、フリースペース、活動道具室)	・児童に合わせた環境にはいたっていない。 ・長期利用時、もう1部屋ほしいと感じます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・緊急でスタッフが不足している場合は、相談職員や事務員、または、他の施設職員の応援にて、安全に過ごせるようにしている。 ・令和7年1月より看護師を配置している。	・放課後等デイサービスの送迎の関係で難しい時がある。 ・利用児の人数や状況、時間帯(早下校)によっては、職員数が足りないと思う。 ・適切だが、児童の発達によって把握が難しい。 ・長期利用時や送迎時に足りないと感じます。 児童の営業時間の見直しは必要と思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・玄関にスロープ、自動ドアを設置。なるべく段差がないよう工夫している。 ・その都度、検討し、改善している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・室内を目的ごとに4つに仕切りを設置。 (自立課題室、朝の会、フリースペース、活動道具室) ・防災委員会で、環境について、危険なものをおいてないか、片付けをしているかなど、確認している。	・利用児によっては室内が広く走り回ってしまい怪我につながりかねない状況になる。 ・問題点等あった場合、改善点を会議にて検討していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・「自立課題シート」を1人ずつ作り、毎日「何ができたか、できなかったか」記録している。 ・自立課題シートも振り返り、職員で話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・保護者の意見に対して、話し合いを行い、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・朝のミーティングやスタッフ会議、全体会議での意見を基に改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	・2019、2022年に第三者評価を行い、業務改善につなげている。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・スペシャルランニングでの研修を実施。 ・全体会議の中でも動画を見たり、内部研修を実施。	T E A C C Hプログラムにて研修ができていない。今後、研修を取り入れていく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・保護者よりニーズをもらい、計画に取り入れている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・職員は、会議や会議議事録で把握している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	・季節ごとのイベントを取り入れるなどできている。	・マンネリ化してきている。 ・スタッフ会議にて改善していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個々の特徴や年齢など考慮し、活動に取り入れている。(体づくり、自立課題)	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・朝礼(ミーティング)で行えている。	・時間が足りない。朝礼中(ミーティング中)に児童が登園している。 ・児発の支援後、放課後等デイサービスの支援もあるため、翌日の朝のミーティングでミーティングで行っているため、話し合う時間が短い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	・次の日の朝礼(ミーティング)にて行っている。 ・スタッフ会議や翌日の朝礼で行っている。情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・月1回 モニタリングを行っている。 ・計画書：6か月に1度、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・相談スタッフが介入しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・保育所、見学を行っている。	・併用保育所への見学が現在、滞っている。 ・保育所等訪問を相談スタッフが持っているので情報を共有している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		年長のみ、情報を提示し、必要に応じて、電話や面談を行っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	1	・旭市こども発達センターと連携して月1回、会議を実施。 ・その他の事業所に見学したりして交流している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9		・ST、OT、心理士などから助言を頂いている。	・外部研修は、随時、検討し、参加できるように勤めている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	4	・相談スタッフが介入しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		・感染対策行っていないが、今後計画立案が必要である。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・送り、迎え時に保護者にその都度、伝えている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2			

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	・保護者からニーズを頂いた時に確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・必要に応じて対応しています。 ・専門スタッフにつなげたり、助言をお願いしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	・行事等で交流している。	・行事等で交流しているが、保護者同士がゆっくり話し合うことは、難しい状況。 ・今年度は2回保護者会を開催。(8月・12月)
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・必要に応じて対応しています。 ・専門スタッフにつなげたり、助言をお願いしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・センターとしては、ホームページはないが、法人ホームページにて発信している。	・ホームページについては、法人とも相談している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・取り扱いに気をつけています。 ・同意書を取り、ご家族に確認しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			・利用児や保護者が理解できるように工夫しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	・法人で福祉まつりや地域も含め、防災訓練を一緒に行っている。 ・ロザリオ福祉まつり、スプリングコンサートを開催予定。	・ロザリオ発達支援センターではなく法人で行っている。 ・感染対策上、行えなかった。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・月に1回は、防災訓練を行っている。 ・今年度は、医療児用の備蓄品を自宅から持参してもらい、災害に向けて準備を行った。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		・お薬手帳のコピーを提出してもらっています。 ・病院受診の際、気をつける点など情報を共有している。 ・主治医の意見書も提出していただいている。 ・必要に応じて、協力医療機関にも受診してもらっている。 ・発作時の薬をセンターにて保管している。 ・保護者にも確認し情報共有している。 ・年1回、アセスメントの見直しを行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・主治医の意見書も提出していただいている。 ・必要に応じて、協力医療機関にも受診してもらっている。 ・緊急用薬をセンターにて保管している。 ・保護者に確認し、情報共有している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・センターの玄関に提示しています。全体会議にて話し合っている。(利用児の状況や改善点)	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・月1回、全体会議にてヒヤリハット報告書を振り返りを実施。 研修も含めて行っている。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回。全体会議にて虐待防止委員会を実施。</li> <li>虐待防止研修も含めて行っている。</li> </ul>	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者に説明し、記録等行う。計画に記載します。</li> </ul>	